

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式						
AM14Z003		心理行動科学 (Psychology and Behavioral Science)					導入教育科目 社会・経済								
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語		担当形態						
必修	1	1	医学部医学科	前期	火2	日本語			単独						
担当 教員	氏名 矢島 潤平														
	E-mail 内線														
授業 の 概 要	本講義は、医療従事者をめざす学生に必須の素養とされている心理学や行動科学の入門基礎コースです。心理学は、人の心や行動を実証的に研究する学問で、行動科学とも呼ばれています。心理学は自己や他者や人間関係の理解、改善・向上を目指し、人間の福祉の向上を図る実践的学問になります。本授業では、心理学の基礎的知見や成果を中心に概説します。これら学問が、いかに私たちの日常の行動や暮らしに深くかかわっているかについて理解を深めてもらいます。														
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7
目標1	心理学の基礎を学ぶことによって、対人コミュニケーション能力の基盤を身につけ、実施できる														
目標2	授業内容をとおして、人間関係を理解するための心理行動科学的視点と方法論を身につけ、表現できる														
目標3	授業内容をとおして、自身及び他者を理解する態度を身につけ、表現できる														
目標4															
目標5															
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度(計10)							2	2	1	2	1	2			
授業の内容															
1	心理学の基礎知識と歴史的背景を学びます														
2	心理学の領域における基礎的研究を理解してもらいます														
3	心理学の歴史と生理心理学を学びます														
4	脳の構造と機能と心理学との連関を学びます														
5	ニューロンの構造と機能を理解してもらいます														
6	精神疾患の概要、治療及び支援方法1(統合失調症について)を考察します														
7	精神疾患の概要、治療及び支援方法2(うつ病について)を考察します														
8	精神疾患の概要、治療及び支援方法3(心的外傷後ストレス症について)を考察します														
9	ストレス研究の基礎を学びます														
10	心の変化を心理生理学的反応からとらえます1(ネガティブな情動変化)														
11	心の変化を心理生理学的反応からとらえます2(ポジティブな情動変化)														
12	心理アセスメントについて学びます														
13	心理療法とカウンセリング(精神分析療法、クライエント中心療法、認知行動療法)を理解してもらいます														
14	高次脳機能障害を理解してもらいます														
15	まとめ														
ラ ッ ク ニ テ ィ グ ラ フ	A:知識の定着・確認	ミニレポート、小グループによるディスカッションの時間を設定して、自身の考えを発表してもらいます。適宜、心理テストなどを取り入れて体験的学習をおこなってもらいます。				工 夫 の 他 の	Moodleにてレジメは配布します。								
	B:意見の表現・交換														
	C:応用志向														
	D:知識の活用・創造														
授 業 時 間 外 学 修 の 内 容 と 想 定 時 間	準備学修	教科書を基に予習を行い、授業の内容を自分なりにまとめてください(12.5h)													
	事後学修	自筆ノートや配付資料をもとに復習をおこなうとともに、ミニレポートによる課題を提出してください(12.5h)													
	想定時間合計	23													
教科書	中島恵子・矢島潤平編「神経・生理心理学 脳から心を理解する」ミネルヴァ書房、2022年 ISBN:978-4-623087112														
参考書	適宜、授業中に提示します														

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	ミニレポート	10%										
	筆記試験（教科書及び自筆ノート（タブレット等も含む）の持ち込みを認めます）	80%										
	グループワーク等の積極的な姿勢	10%										
	上記の評価の割合は目安であり，総合的に評価します。											
注意事項	対面にて実施するため，隣の人と一定の間隔をあけて着席してください。											
備考	授業の進行状況によって，授業の内容を一部変更することがあります。											
リンク	URL											
担当教員の 実務経験の 有無												
教員の 実務 経験	総務省消防庁緊急時メンタルサポートチーム，大分県緊急時心のケアチーム											
実務経験を いかした 教育内容	授業中に経験した実践事例を紹介しますので，グループワークなどでのディスカッションの参考にしてください											